

〆切 令和3年1月15日

鳥取県農地・水・環境保全協議会

「田んぼダム」モデル地区を募集

堰板（調整版）の実証に協力していただける
多面的機能支払の活動組織を募集します！！

〇多面的機能支払交付金の加算措置を新設予定

鳥取県では、令和3年度から多面的機能支払交付金の共同活動の加算措置として、水田の雨水貯留機能強化（田んぼダム）の推進を始める予定としています。

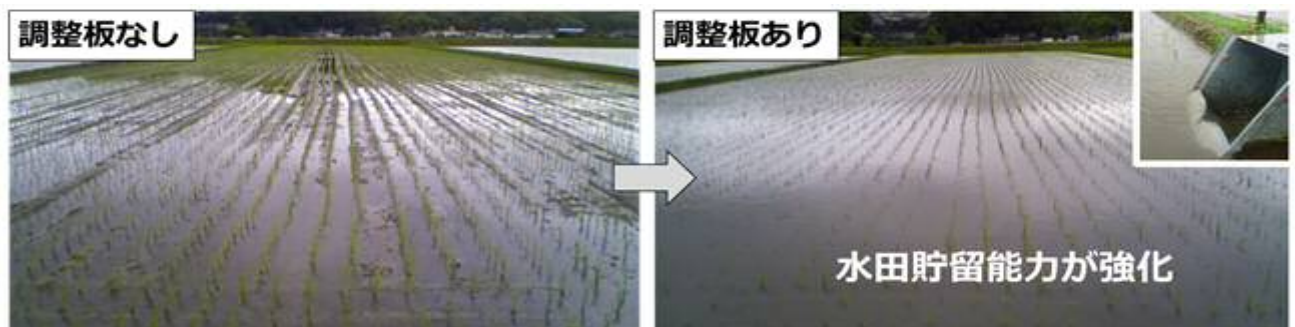
- ・加算要件 共同活動の交付を受ける田面積の1/2以上で田んぼダムに取り組むこと
- ・加算単価 400円/10a 予定（R3年度予算概算要求中）

〇「田んぼダム」とは・・・

田んぼが元々持っている水を貯める機能を利用し、大雨の際に一時的に田んぼに水を貯め、ゆっくりと排水することで、農地や市街地の防災・減災を目的とする「流域治水」の取り組みです。

〇モデル地区の取り組み

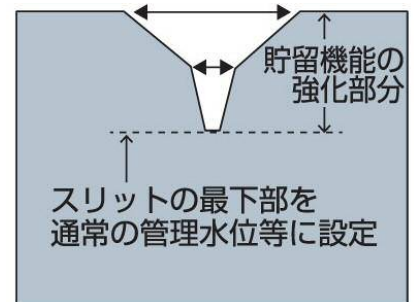
協議会から提供される田んぼダム用の特殊な形状の堰板（調整版）図①を、田植えの時期から刈り取り時期（台風時期・10月末ごろ）まで設置していただき、雨水貯留機能強化に取り組んでいただきます。



〇「堰板（調整版）」の提供について

モデル地区に選考された活動組織へは、協議会から今年度限り堰板を提供する予定としています。（約15ha分）

ただし、提供された堰板で加算要件（田面積の1/2）をクリアできない場合は、活動組織の負担で堰板を確保していただくこととなります。また、田面積の1/2以上設置される場合の堰板についても同様です。この場合、協議会提供の堰板と同じでなくてもOKです。また、多面交付金で購入も可能です。



図① 堰板（調整版）

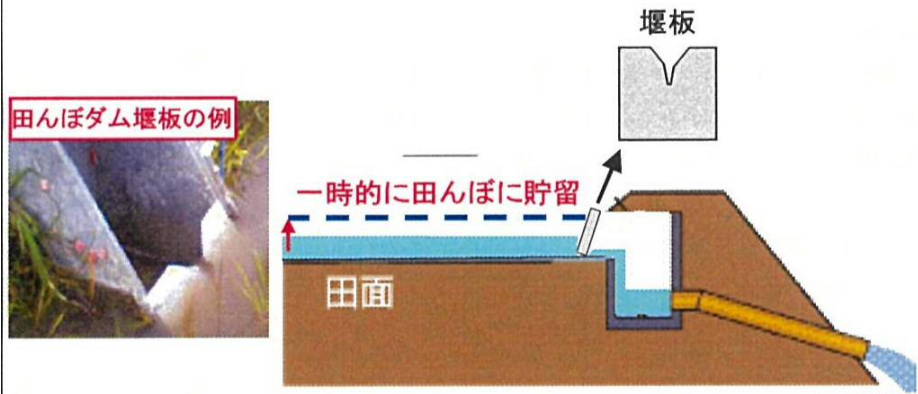
〇田んぼダムモデル地区募集要領

- ・対象組織 資源向上（共同活動）を実施している組織
- ・応募〆切 令和3年1月15日（金）
- ・申込先 鳥取県農地・水・環境保全協議会（水土里ネットとっとり）
Tel 0857-38-9500

※複数組織から応募があった場合は、地理的条件等を考慮し、堰板を提供する組織を選考させていただきますので、ご了承ください。

水田の活用（田んぼダム）

- 田んぼダム（排水口への堰板の設置等による流出抑制）によって下流域の湛水被害リスクを低減。



農研機構農村工学研究部門は、豪雨時に水田に水をためて洪水被害を軽減する「田んぼダム」を稲の減収なしにできる目安を明らかにした。

収量が減らない貯水期間を割り出し、手軽に水をためられる器具も開発。雨のピークに水田からの排水量を約40%減らすことができる。生産者の協力を得て、水田の貯水機能を活用した豪雨対策の普及が期待される。

水田は豪雨時に一時的に雨水をため、その後ゆっくり川に排水して、下流域の浸水被害のリスクを低減する機能がある。田んぼダムは水田の排水部に器具を設置。貯留効果を高める取組みだ。
（日本農業新聞）

